

令和8年4月16日

北海道大学大学院医学研究院 講師または助教の募集について

北海道大学大学院医学研究院 病原微生物学教室では、下記のとおり講師または助教を募集することといたしましたので、お知らせいたします。

本教室では、医学的意義の高い感染症を対象として、病原体-宿主相互作用の理解を基盤に、感染成立から病態形成に至る過程を分子レベルで解明し、診断・治療戦略へとつながる知見の創出を目指しています。シングルセル解析、次世代シーケンス、デジタルPCR等の先端技術を統合し、基礎研究成果の臨床還元を重視しながら研究を推進しています。

本教室の講師または助教として、教育・研究に積極的に参画いただける方を募集します。

記

1. 募集人員 講師または助教最大2名
2. 職名 講師または助教（職務・経歴等を勘案し決定）
3. 所属 （雇入れ直後）北海道大学大学院医学研究院 病原微生物学教室
（変更の範囲）大学の定める場所
4. 専門分野 微生物学、ウイルス学、感染症学、免疫学、分子生物学、ゲノム科学等
（病原体-宿主相互作用・病態形成に関連する分野）
5. 職務内容 （雇入れ直後）大学院医学研究院、大学院医学院及び医学部
（全学教育を含む）に係る教育・研究に従事するとともに、全学及び研究院等における各種委員会委員等の管理運営業務に従事
（変更の範囲）大学の定める業務
6. 担当科目 大学院および学部における微生物学・感染症学等に関する講義・演習・実習等を担当する（担当内容は職位・経歴等により決定）
7. 応募資格 上記の専門分野に関して十分な研究能力（講師は研究指導能力を含む）を有し、担当講義等を実施でき、教育に熱心な方
8. 着任時期 令和8年9月1日以降
9. 任期 あり（5年）

10. 更新の有無 講師：審査により任期を更新する場合がある
その場合、更新は1回を限度とし、任期は5年とする
ただし、業績審査により任期の定めのない教員となることができ
る
助教：審査により任期を更新する場合がある
その場合、更新は1回を限度とし、任期は5年とする
11. 試用期間 あり（3ヶ月）
12. 給与 国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による
13. 勤務形態 同意に基づく専門業務型裁量労働制（※）
または固定労働時間制を適用
（※1日に7時間45分勤務したものとみなす）
14. 健康保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入
15. 募集者の名称 国立大学法人北海道大学
16. 受動喫煙防止措置の状況 特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙
17. 応募方法
- (1) 履歴書：
（写真貼付、生年月日、国籍（日本の場合、記入不要）、現住所、連絡先、
電話番号、電子メールアドレス、学歴（大学卒業以降）、学位、資格、職歴を記入）
- (2) 研究業績目録：
A 論文等に係る業績：学術誌に発表した査読付論文、著書、国際会議プロシーディングス、解説・総説、作品、招待講演、その他（特許・発明・考案等）に分類し、全著者名を掲載順に記載
B 競争的外部資金獲得の実績：科学研究費補助金（代表と分担に分ける）、共同研究・受託研究（代表のみ）、公募研究資金（代表のみ）に分類して記載
C 所属学協会およびその活動、社会貢献実績（産学連携を含む）、受賞等
- (3) 教育実績：
A 教育指導に係る実績：学部教育と大学院教育（担当授業科目名を明示）、ならびに学外非常勤講師等、その他（大学以外での実績も含む）に分類して記載
B 教育改善に係る実績：教科書の執筆・翻訳、教育改善に関する著書・論文、教育関連の補助金取得・受賞等に分類して記載
C その他：教育関係委員会等の実績と活動内容や特記すべき事項
- (4) 最近5年間の主要論文5件の写し各1部
- (5) 採用された場合の研究計画（2000字程度）
- (6) 採用された場合の教育に対する抱負（1000字程度）
- (7) 本人について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先（電話、E-mailを含む）

18. 選考方法 書類選考の上、面接試験を実施
※書類選考通過者にのみ面接日時を連絡いたします。
なお、面接の際の交通費は自己負担とします。
19. 募集期限 採用者が決定次第終了
20. 提出先 郵送またはメールにて必要書類を提出
〒060-8638 札幌市北区北 15 条西 7 丁目
国立大学法人 北海道大学大学院医学研究院 病原微生物学教室
担当 佐藤 賢文
※封筒に「講師・助教応募」と朱書きしてください。
電話：(011) 706-6905
電子メール：y-satou@pop.med.hokudai.ac.jp